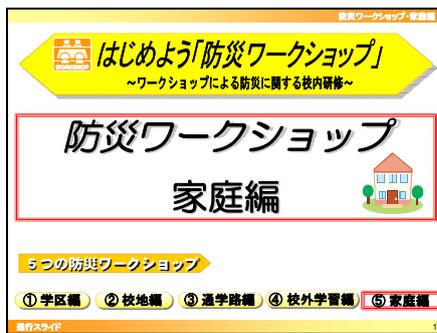


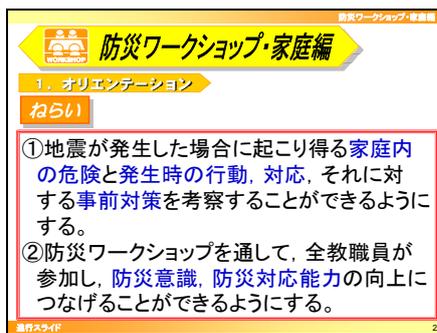
ス  
ラ  
イ  
ド  
1



## 進行要領例

本日は5つある「防災ワークショップ」の一つ「防災ワークショップ・家庭編」を行います。自然災害の想定は地震です。まずは、ねらいと流れを確認しますので、ワークシートをご覧ください。

ス  
ラ  
イ  
ド  
2



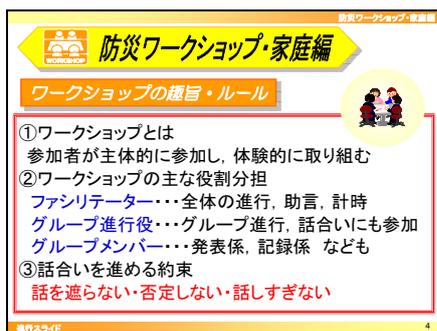
「防災ワークショップ・家庭編」のねらいは2つあります。  
①地震が発生した場合に起こり得る家庭内の危険と発生時の行動、対応、それに対する事前対策について考察することができるようにする。  
②防災ワークショップを通して、全教職員が参加し、防災意識、防災対応能力の向上につなげることができるようにする。  
です。

ス  
ラ  
イ  
ド  
3



本日の流れをご覧ください。「防災ワークショップ・家庭編」は自宅平面図を描き込んだワークシートを基に、危険や対策、対応について話し合い、まとめていきます。時間は約45分です。ご協力よろしくお願いします。  
(※必要に応じて、次のスライド「ワークショップの趣旨・ルール」を用いてワークショップについて説明する。)

ス  
ラ  
イ  
ド  
4



(※必要に応じて実施してください。)

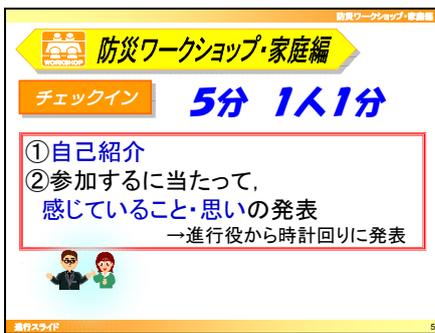
ワークショップの趣旨とルールを確認します。  
ところでみなさんワークショップによる研修を受けたことがありますか？

ワークショップによる研修は、参加者が主体となって積極的に参加し、体験的に取り組むことができる研修です。互いにアイデアを出し合い、一人一人の参加意識が高まり、校内研修が活性化します。

主な役割分担は、ファシリテーター、グループ進行役、グループメンバーとなります。私は全体進行などを行うファシリテーターを務めます。

全員が話し合いに参加できる雰囲気を作るためにも「話を遮らない」「否定しない」「話しすぎない」の約束を守ってください。また、限られた時間内に実施するために活動を時間通りに区切って進めていきます。

ス  
ラ  
イ  
ド  
5



(※時間が無い場合は省略してください。)

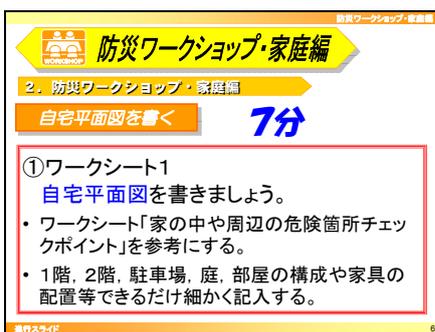
次に「チェックイン」を行います。「チェックイン」はワークショップの最初のステップです。アイスブレイクや自己紹介を通して雰囲気や和らげ、ワークショップの活動を活発にしようとするねらいがあります。

グループごと「簡単な自己紹介」と、「ワークショップに参加するに当たって、感じていることや思い」を1人1分で発表してもらいます。それではグループ進行役の方から時計回りに発表してください。では、どうぞ。

※ここから5分計時

時間です。やめてください。

ス  
ラ  
イ  
ド  
6



それでは、早速防災ワークショップを進めていきます。

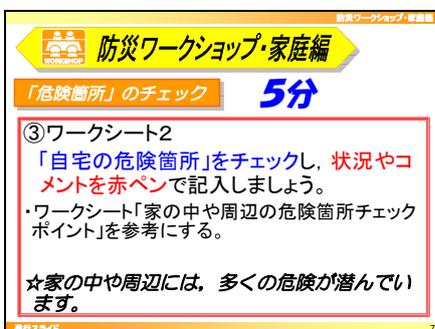
参加者はワークシートを活用しながら参加してください。私が時間や全体指示を行いますので、ワークショップの趣旨である指定された時間で活動に取り組んでいけるようご協力をお願いします。

最初はワークシート1「自宅平面図」を記入します。ポイントは2つです。ワークシートにある「家の中や周辺の危険箇所チェックポイント」を参考にしてください。1階、2階、駐車場、庭、部屋の構成や家具の配置等できるだけ細かく記入してください。7分で行います。それでは、始めてください。

※ここから7分間計時

※6分経過後、残り1分です。

ス  
ラ  
イ  
ド  
7



時間です。やめてください。

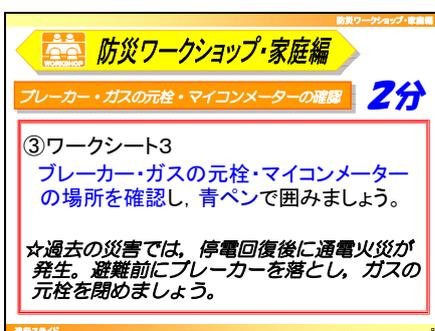
次の活動に入ります。ワークシート2「自宅の危険箇所」をチェックし、非常に強い揺れが発生したときの状況やコメントを赤ペンで、記入してください。時間は5分です。では、どうぞ。

※ここから5分間計時

※4分経過後、残り1分です。

時間です。家の中や周辺には多くの危険があることに気づいたと思います。

ス  
ラ  
イ  
ド  
8



次の活動に入ります。ワークシート3、「電気のブレーカー・ガスの元栓・マイコンメーターの場所」を確認し、青ペンで囲んでください。時間は2分です。それでは、どうぞ。

※ここから2分間計時

※1分経過後、残り1分です。

時間です。過去の災害では、停電回復後の通電火災が多数発生しています。災害発生後に避難する場合は、必ずブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めてください。

ス  
ラ  
イ  
ド  
9

③ワークシート4  
普段過ごす部屋から屋外への避難経路について矢印等を引いて、確認しましょう。

★地震発生直後は、家具や割れたガラスで屋外に出るのは難しいです。

次の活動に入ります。ワークシート4,「自分が普段過ごす部屋から、屋外への避難経路」を考え、矢印等を引いて、確認してください。時間は2分です。それでは、どうぞ。

**※ここから2分間計時**

**※1分経過後、残り1分です。**

時間です。地震発生直後は倒れた家具や割れたガラスなどで屋外に出るのは至難の業です。時間がある時に、夜中就寝中、停電した場合なども考えてみてください。

ス  
ラ  
イ  
ド  
10

⑤ワークシート5  
「対応・対策・家族」について考え、ワークシートにまとめます。

- ・「発生直後の対応」「事前対策」「家族」
- 「家族について」は家庭の状況に応じて記入

次の活動に入ります。ワークシート5,「発生時の対応, 事前対策, 家族」についてそれぞれまとめてください。

「家族について」は、家庭の状況などを配慮し、記入できる所までまとめてください。

時間は5分です。では、どうぞ。

**※ここから5分間計時**

**※4分経過後、残り1分です。**

ス  
ラ  
イ  
ド  
11

⑥ワークシート6

- ・グループで進行役、発表役を決める。1分
- ・1人1分以内に「ワークシート5」の内容について発表する。5分  
→進行役から時計回りに発表
- ・グループの意見をまとめる。5分

時間です、やめてください。次の活動に入ります。ここからグループ活動に入ります。

まずは、グループで進行役、発表役を決めてもらいます。それではグループごと1分で決めてください。

決まりましたか。各グループ進行役の方はグループ進行表を参考に進行してください。

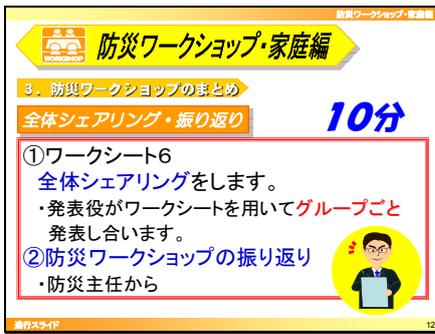
**※各グループの進行役を確認し、「グループ進行表」を配付する。**

次に、それぞれ1人1分以内に、ワークシート5の内容について、発表をしていきます。進行役から順番に時計回りで発表をお願いします。全員の発表が終わりましたら、話し合っ、グループの意見をワークシート6にまとめてください。時間は合わせて10分です。それではグループ活動となります。始めてください。

**※ここから10分間計時**

**※9分経過後、「残り1分です。」**

ス  
ラ  
イ  
ド  
12



時間です。やめてください。グループ進行役の先生、ありがとうございました。

**※ここから10分計時**

続いて、防災ワークショップのまとめに入ります。最初にグループの意見を全体でシェアリングします。グループごとにワークシート6にまとめた意見を発表してもらいます。さらにワークシート6には、他のグループの発表を聞いて、グループの意見になかったものや新しい気づきや考えも記入してください。

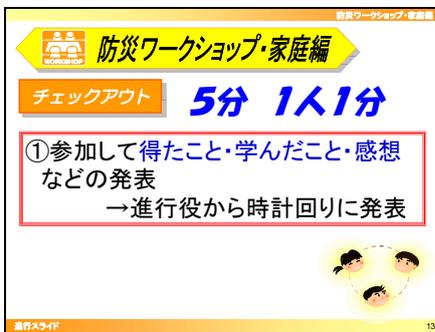
発表時間は**1グループ1分程度**をお願いします。では、こちらのグループから発表役の先生、お願いします。

ありがとうございました。次のグループをお願いします。

**(※時間に応じて質疑応答の時間)**

最後に私からワークショップ全体を振り返っての感想や意見を述べます。**(※ファシリテーター進行表参照)**

ス  
ラ  
イ  
ド  
13



**(※チェックインを省略した場合は省略してください。)**

最後に「チェックアウト」を行います。「チェックアウト」はワークショップの最後に学んだことを伝え合い、確認するねらいがあります。

グループごと、「ワークショップに参加して、得たこと、学んだこと、感想」を**1人1分で発表**してもらいます。それではグループ進行役の方から時計回りに発表してください。では、どうぞ。

**※ここから5分計時**

時間です。やめてください。